

令和4年12月1日
総務部秘書課
広報広聴係(内線4007)

「市長とぶらっと〜ク」の実施状況について

1 目的

市民と市長が気軽に談話し、市民に市政を身近に感じてもらうとともに、「市民の声」を直接伺い、今後の市政運営の参考にすることを目的として実施する。

2 対象

- (1) 市内在住・在勤・在学者で構成されるグループで、原則3人～10人程度
- (2) 年齢制限なし。小・中学生は引率者等の同伴とする。

3 談話の内容

市政についての意見や日頃感じていることなど、建設的な内容とする。

※単なる相談、要望、営業、特定の個人または団体に対する誹謗、中傷などの内容は不可とする。

4 申込み方法 ※下記のいずれかの方法で申込み

- (1) スマートフォンで、申し込みフォームから申し込み
- (2) 申込書を市HPからダウンロードするか、秘書課窓口にて入手のうえ、いずれかの方法で申込み（メール・郵送・窓口へ持参）

※申込み受付後、市と申込者で日程調整を行う。

5 実施状況（令和4年11月30日現在）

期日	団体名	談話のテーマ	参加人数
10/11	特定非営利活動法人 ミニヨン・スター	街なかでの障がい者の働く場所と住む場所について	3人
10/27	沼田市地域おこし研究会	移住促進を通じた沼田市の活性化について	3人
11/11	沼田高校定時制	中心商店街活性化、少子化対策、コロナ対策、農業振興策、移住促進策	11人

※談話の様子は、裏面のとおり

6 その他

- (1) 会場 … テラス沼田（会議室ほか）

※要望に応じて、申込者が用意した会場でも実施可

- (2) 談話の時間 … 1団体 1時間程度

令和4年度 市長とふらっと〜ク

ページ番号1012686

更新日 令和4年11月22日

10月11日（火曜日）令和4年度第1回市長とふらっと〜ク／特定非営利活動法人ミニヨン・スター



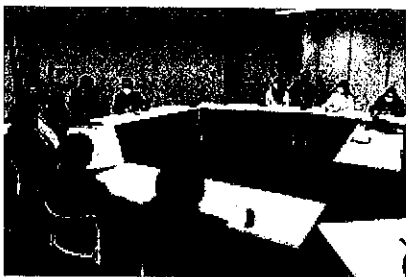
テラス沼田4階応接室にて、特定非営利活動法人ミニヨン・スターの3人と星野市長が、街なかでの障がい者の働く場所と住む場所をテーマに談話しました。ミニヨン・スターの皆さんは、「障がい者の親の会」のメンバーでもあることから、障がい者福祉を街なか活性化につなげる提案など建設的な意見交換が行われました。

10月27日（木曜日）令和4年度第2回市長とふらっと〜ク／沼田市地域おこし研究会



地域おこし協力隊員などから構成される沼田市地域おこし研究会（高津修代表）と星野市長が、移住促進を通じた市の活性化をテーマに市役所で談話しました。3年前に本市へ移住した高津さんは、実際に暮らし、地域との触れ合いを通して感じた沼田の魅力を伝えました。一方、地域のルールに戸惑ったことをあげ、移住者をサポートしてくれるコンシェルジュの役割や受け入れ体制の整備などが、より快適な移住生活につながると提案しました。

11月11日（金曜日）令和4年度第3回市長とふらっと〜ク／沼田高校定時制



テラス沼田4階防災会議室402にて、沼田高等学校定時制の生徒の皆さんと星野市長が、利根沼田地域の課題をテーマに談話しました。具体的には、コロナ禍への対応と少子化対策についてや、同校の所在地が近いことから中心商店街活性化策などについて、活発な意見交換が行われました。

